



優秀賞 日本造園建設業協会静岡県支部賞

大工町プレイス・弁天橋ボードウォーク (下田市)

受賞者 下田市



アクセス 伊豆急下田駅から徒歩約 10 分
所在地 下田市三丁目 6-30、6-21 ~ 26 先



大工町プレイス・弁天橋ボードウォークが位置する下田旧町内は、なまこ壁や伊豆石を使用した歴史的建造物が点在し、また、国指定史跡「了仙寺」や「ペリーロード」があり、多くの人が訪れる場所です。

下田市では、この2つのポケットパークを令和元年度に都市公園として整備し、令和2年4月から供用を開始しました。供用開始後、公園利用の促進を図るため、大学や民間企業との連携による社会実験を実施してきました。

大工町プレイスは、元々空き家を解体してできた空き地に新設したポケットパークで、隣接する歴史的建造物の壁面にあるレトロな看板を活かし、また前面道路の美装化と併せて一体的な整備

をしました。園内には、照明や電源を整備したステージを設置し、多様な活用が可能となる仕様となっています。

弁天橋ボードウォークは、近接する「ペリーロード」からの人流を旧町内に向けてることを目的に計画し、借景となる自然景観を活かすように設計しました。また、園内にはヤシやハイビスカスなどを植栽し、南国風な空間を創出しました。

審査委員より

2つのポケットパーク整備は、近接するペリーロードと連結することで、より情緒ある下田らしい回遊散策景観の創出に成功しています。

大工町プレイスでは歴史的資産が、弁天橋ボードウォークでは南国らしい植栽計画が、魅力的な景観形成に役立っています。

既成のまちの要素や資源を細かな視点のもとに粒立たせ、小規模でありながら街に華をもたらし、このエリアの魅力を相乗的に高めています。